

日本性科学会ニュース

Japan Society of Sexual Science

第42巻 第2号 令和5年(2023年)6月

information

第42回日本性科学会学術集会

会期：2023年10月1日（日）

会場：横浜シンポジア 横浜商工会議所 9F 議場（〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町2）

会長：関口 由紀（医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニック LUNA グループ 理事長・CEO）

テーマ：性を深く掘る

演題募集期間：2023年8月1日（火）18時まで

性科学に関することならテーマは問いません。興味深い演題を広く募集いたします。

会長からのメッセージ：

今年は、国文学者の田中 貴子先生（甲南大学文学部日本語日本文学科教授）と社会学者の宮台 真司先生（東京都立大学教授・至善館大学院客員教授・兵庫県立芸術文化観光専門職大学客員教授）、作家で編集者の原田 純さん（径書房代表取締役）をお招きして、性科学を研究したい、学びたいと思っている方に興味をお持ちいただけるテーマでご講演をお願いしております。

また、ランチョンセミナーでは、最新のインティマレーザー治療についての講演を予定しています。

HP：<https://www.convention-plus.jp/42jsss/>

日本性科学会 一般社団法人化について

2023年5月28日（日）に開催された「2023年度日本性科学会総会」において本会の一般社団法人設立について次の内容が決議されました。

- ・一般社団法人日本性科学会の設立後は、任意団体が保有している資産や事業、その他すべてを一般社団法人が引き継ぐ。
- ・また、一般社団法人の設立ならびにすべての清算や引継が完了した後に、任意団体としての日本性科学会を解散する。

任意団体の解散は8月末を予定しており、9月1日から一般社団法人日本性科学会としてスタートする見込みです。準備が整い次第、2023年度会費のご請求や法人としての運営に必要なご案内等をお送りいたします。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

発行人：針間 克己

発行：令和5年（2023年）6月

DTP：松田デザイン・スタジオ

日本性科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

TEL・FAX: 03-3868-3853 E-mail: office@sexology.jp URL: <https://sexology.jp/>

性感科学研究会調査報告 「ヌルヌルはなぜ気持ちいいのか？」

早乙女智子、三鍋和美、柳田正芳
ジェクス株式会社 井上、利光、吉方

雑談の中から性感についての議論が生まれ、「ヌルヌルはなぜ気持ちいいのか？」という命題に対して、数名の有志による「性感科学研究会」が立ち上がった。

国によっては大学に性科学講座があり、性科学博士がいるが、国内では医学領域に性科学研究の土壌がない。それでも研究可能な課題から性感に関する研究を始められると考えた。

山登りに様々な登り口があるように、性に関係するアプローチには様々な方法がある。研究を通して性に関する一般の方の関心を高めることも可能である。

「ヌルヌル」したものに触れると「気持ちいい」とはどういうことか？潤滑ゼリーや体液の接触とどのような関係があるか？皮膚や粘膜のC-fibersで物性を感知するとき、粘性・温度・材質・条件の違いなどによって何が起るのか？など、当たり前だと思っている素朴な疑問の検証を試みた。

第1回調査は、「6種類の素材と脳波等の計測」を行い、素材による反応の違いを調べた。

アルファテック7®で、標準脳波を測ったのち、6種類の触感の異なる素材に触れながら、脳波計測で右脳と左脳の反応をみた。また、サーモグラフィーで上半身の体温変化を測った。終了後ヒアリングを行った。素材は、水・アクリル棒・スライム・寒天ゼリー・ローション（水溶性潤滑剤・潤滑油）の6種類を使用した。

第1回調査の結果、男性は左脳優位の反応を示した。標準脳波において、右脳左脳の優位反応がない方の場合も含め、実験計測では、女性は右脳左脳に大きな差はなく活動するのに対して、男性は全員明らかに左脳優位の活動となった。水・個体・スライムより寒天・ローション（水溶性・オイル）の方がいずれもより大きく反応した。能動的な動作と受動的な刺激でどう変わるのか疑問があ

り、2回目の調査となった。

第2回調査は、同じ実験者に前腕内側を触れられた場合の受動的な反応を調べた。被験者はLGBTQを含む10名だった。素手で触れた場合とローション（水溶性潤滑剤）を使用した状態で調べた。男性は、「感じる」状態になると左脳優位になった。女性については、5名中2名は、男性に現れる計測パターンとなった。

【結果からの仮説】男性は、感じようとするときには左脳優位（右脳が落ち着く）になるが、男性的思考を持つ女性の場合は同様の反応をする可能性がある。人は、人に触れられることにより落ち着く傾向にある可能性がある。素手で触れられるよりゼリーを使用することで「こそばさ」などが緩和され、更に脳が落ち着く可能性があることが示唆された。

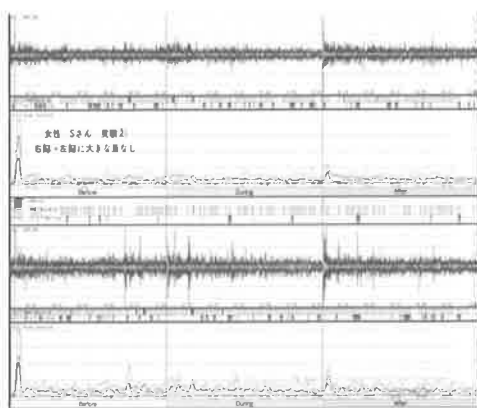
2回目は、会場の都合で脳波計測後のヒアリングができなかったため、被験者の主観的な感覚が確認できていない。脳波は主観的な要素が反映するため、事前に計測結果に影響するであろう日常的な嗜好や、計測時の感想などに関するヒアリングシートを準備して実験を行うことを考えている。また、時間経過とともに脳波が落ち着いていった可能性も考えられるので、標準化や再現可能性を十分考慮して研究計画を立てたい。

サーモグラフィーの結果、大半の領域で体温上昇を認めた。ヒトは体の一部に触れられる事で体温が上昇する傾向にある。

性的な調査研究は、研究デザインの難しさや倫理的配慮などがある。英語で論文文化できるように研究系を整えていきたい。



サーモグラフィー



アルファテック7®による脳波測定



実験風景

光文社新書 「射精道」を読んでみて

医療法人桐葉会 きじまこころクリニック院長
織田 裕行

私は北海道が好きだ。すっきりと伸びたホワイトアスパラは、まるで果物のようだから。

私は射精道が好きだ。あつい思いで記された、まるで作者の心鏡のようだから。

学会ニュース3月号の3面でも書かせて頂いた通り、本年2月5日に第16回 日本性科学会近畿地区研修会を開催させて頂きました。その際に、聖隷浜松病院リプロダクションセンターの今井伸先生に「正味の話、性教育って・・・射精道誕生秘話～」として、ご著書「射精道」を昨年9月に出版されるに至った経緯や、性教育に関するお考えについてご講演頂きました。

実は、そのご講演の前日に今井先生にお会いする機会を頂きました。そこで、かねてから話題になっていたあの件について、「ご著書のあとがきに『人生の2分の1は性的なことを考えて生きてきました。』※とあり、このことはみうらじゅん氏の『人生の3分の2はいやらしいことを考えてきた』のオマージュらしいですね」とお聞きしました。すると、とてもうれしそうに「そのことがきっかけで、先日、みうらじゅんさんと対談させて頂きました」と述べられました。後日、そのことを確認しましたところ、月刊「文藝春秋」2023年3月号と「文藝春秋 電子版」に、「対談 老いるショックと射精」として掲載されているこ

とが分かりました。この対談についても併せてお読み頂くと、「射精道」はいつそう味わい深いものになります。

さて、本著は全9章で構成されています。もちろんすべてを熟読するのが良いのですが、「思春期編」「青年期編」「妊活編」「中高年編」「射精障害克服編」など、限られた時間の中でその用途に合わせて読むこともできます。さらに、それぞれの章は冒頭に「第〇条」としてキーになる項目が箇条書きにされ、そのあとに具体的な解説がされていることから、専門家でない一般の読者にも理解しやすい工夫がなされています。また、作者の意に反した失礼な読み方かも知れませんが、たとえば「中高年編」から読み始め、その原因を模索するように「青年期編」「思春期編」とさかのぼって読むなど、あたかも80年代に流行ったゲームブックのような読み方もできるような気がします。いずれにしても医学的情報だけでなく、その構成やレトリックからも「知っておくべき性の知識と倫理観、陰茎の正しい扱い方について」[※]楽しく学べる珠玉の1冊です。

※「射精道」からの引用



『射精道』今井伸 著 光文社新書
定価 968 円（税込）

information

腔ダイレーター（日本性科学会開発・ジェクス株式会社製造販売）価格変更について

千葉医療センター産婦人科非常勤
大川 玲子

腔ダイレーターは元来日本性科学会カウンセリング部が、挿入障害（vaginismus）の治療用に開発・販売していました。製品の安定普及を目的に、ジェクス株式会社と検討を重ね、2012年より現在の製品（ポリエチレン製5サイズ）を通信販売しています。

この度、原材料費の高騰などにより、やむをえず価格変更したことを会員に周知するとともに、改めて本製品のご利用をお勧めいたします。

本学会HPに使用法等の詳しい説明がありますが、挿入障害治療のほか、造腔術、腔狭窄予防などに有用です。

挿入障害では、腔への挿入感覚を学習して恐怖や不安を取り除く行動療法（系統的脱感作法）として、「指」程度の太さ①から勃起したペニスに近いサイズ④までのダイレーターを段階的に使用します。指で行う方法と同様

です。腔は伸びるものですから、拡げるという意味の「ダイレーター」は適切な名称ではありませんが、諸外国でもこの用語を用いています。

一方、ペニスに匹敵する大きさ⑤のものは、造腔術としての腔壁（代替皮膚・粘膜）の伸展、維持や、子宮がん放射線治療後などの腔萎縮予防にも用います。

本製品はいわゆる医療機器ではなく、「医師の責任で患者に指導しつつ使用する」を前提に製造・販売しています。このため使用者の直接購入ではなく、医師が使用を勧める（医師のサイン入りの購入申請）という形式をとっています。実際にどの目的の場合も、安全で効果を上げるためには医師（セラピスト）の指導が必要です。

セックス・カウンセラー セックス・セラピスト資格認定委員会より

資格認定委員会委員長 大川 玲子

日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」資格認定規定、ならびに更新規定に基づき、2023 年度の新規資格認定ならびに更新資格認定をおこないます。

資格認定申請期間は、新規・更新ともに 2023 年 8 月 1 日～8 月 31 日です。新規資格認定希望者は、申請書類を日本性科学会事務局までご請求ください。資格更新該当者は、事務局より 7 月中に更新申請書類を送付いたします。

いずれの場合も資格認定規定をご熟読の上、ご申請下さい。ご不明な点は学会事務局までお問い合わせください。

なお、現在、資格認定制度の見直し中ですが、2023 年度新規資格認定及び更新については現行制度で行われます。新制度の主な変更点に関しては 2022 年 12 月に発行した日本性科学会ニュース第 41 巻 4 号をご確認ください。

第26 回性の健康世界学会（26th Congress of the World Association for Sexual Health）

会 期：2023 年 11 月 2 日（木）～5 日（日）

テーマ：BRIDGING THE GAPS: sexual Health, Rights, Justice and Pleasure for all

（隔たりを埋める：すべての人のための性の健康、権利、正義、プレジャー）

演題登録締切：2023 年 6 月 30 日（金）※延長されました

早期登録料金（～6 月 30 日）：WAS 会員 495€、学生 250€、看護師・教師・NGO 職員 400€

会 場：トルコ・アンタルヤ ミラージュパークリゾートホテル

HP：<https://www.was2023.org/>

※日本性科学連合（JFS）が本学会に参加するためのツアーを企画しています。詳細を希望される方は JFS 事務局までお問い合わせください（info@jfs1996.jp）。

未納会費納入のお願い

既報の通り本会の一般社団法人設立に伴い、2023 年度会費（一般 12,000 円、学生 5,000 円）については準備が整い次第ご請求の連絡をいたします。

2022 年度分までに未納のある会員はご納入をよろしくお願い申し上げます。未納がありますと、法人化後に入会の再審査が必要になります。任意団体から一般社団法人へのスムーズな移行のためにも、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

また、住所やメールアドレスに変更があった場合は速やかにご連絡いただきますようお願いいたします。退会を希望される場合は、退会届（書式自由。退会日、退会理由をお書き添えください）をメール・FAX・郵送のいずれかで事務局までお送りください。



【メールアドレス変更届出フォーム】
<https://bit.ly/3wv6qvp>